

病理組織診・細胞診検査

【QM10 L1】検査項目および基準範囲一覧

表1. 項目一覧

HISコード*	検査項目	提出材料	固定	保存	所要時間	備考
	病理組織検査	生検	固定材料	ホルマリン	常温	3～6日
		手術	固定材料	↓	5～10日	病理検査室にてホルマリン固定
			生材料			
	病理組織検査(術中迅速)	生材料	↓		15分/1検体	乾燥不可、生食浸水不可
	細胞診検査(通常)	生材料	↓		3～4日	悪性リンパ腫を疑う場合は乾燥固定標本も
		塗抹材料	95% エタノール			
	細胞診検査(術中迅速)	生材料(体腔液)	未固定		20分/1検体	
		塗抹材料(穿刺吸引)	95% エタノール		15分/1検体	
	病理組織検査(診断)	染色標本・未染標本			2～3日	必ず施設名の記載が必要です
	細胞診検査(診断)	染色標本		↓		
	病理解剖	ご遺体		保冷库	3～5時間	当該診療科が解剖室へ運搬

※ 病理・細胞診検査いずれも依頼書が必要

※ 術中迅速(病理・細胞診)に関しては前日までに予め依頼書の提出が必要(検査中止となった場合には必ず連絡をお願いします)

※ 必ず担当医(依頼医)の連絡先PHS番号の記載が必要

表2. 基準範囲一覧

HISコード*	検査項目	基準範囲
	細胞診検査	
	婦人科(内膜を除く)	NILM(ペセスダシステム)
	乳腺	正常あるいは良性
	甲状腺	良性
	その他	I, II (クラス分類)
	術中迅速細胞診	I, II (クラス分類)
	HER2 DISH	HER2/CEP17 比 <2.0 かつ、HER-2 遺伝子コピー数の平均が1 細胞あたり<4

基準範囲の出典については、各担当検査室へ問い合わせください。

2025/7/1

病理組織診・細胞診検査